

# 2019年3月期 第1四半期 決算説明資料



2018年8月9日(木)

# 2019年3月期 第1四半期 決算概要

# 2019年3月期第1四半期決算概要(連結)

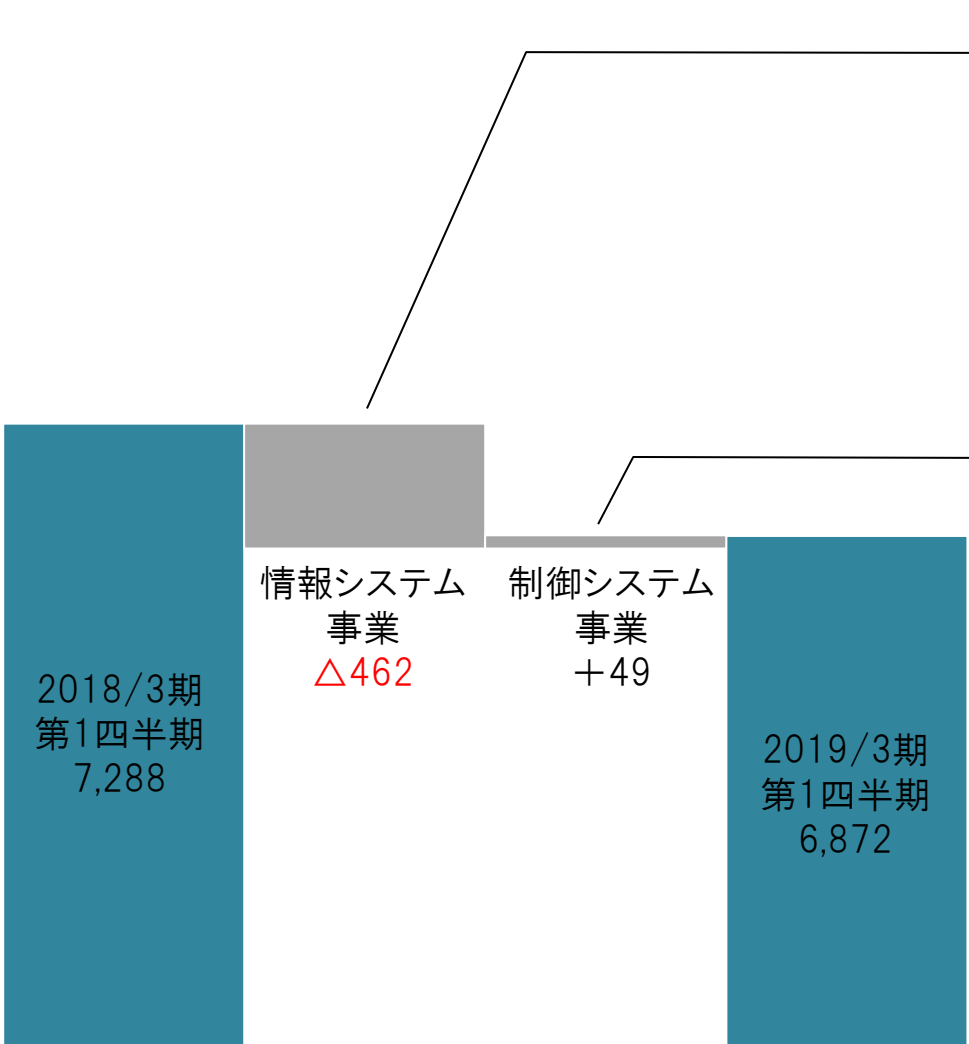
## 連結損益計算書

(単位:百万円)	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減
売上高	7,288	6,872	△415
売上総利益	2,742	3,091	+348
販売管理費	3,073	2,372	△700
営業利益	△330	718	+1,049
経常利益	△266	812	+1079
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△195	553	+749

# 売上高増減要因

前期比

△415百万円



## ■情報システム事業

売上高 50億89百万円(△4億62百万円)

新製品効果により情報公開端末「BiGMO PREMIU M II」の販売は好調に推移し、また人手不足への対応として台毎計数システムの需要は増加しましたが、その他の主力製品においては、前年同期を下回る実績となりました。

## ■制御システム事業

売上高 17億93百万円(+49百万円)

部品販売において好調であった前年同期を下回りましたが、順調に機種が市場投入され、表示ユニットの販売台数が前年同期に比べ増加しました。

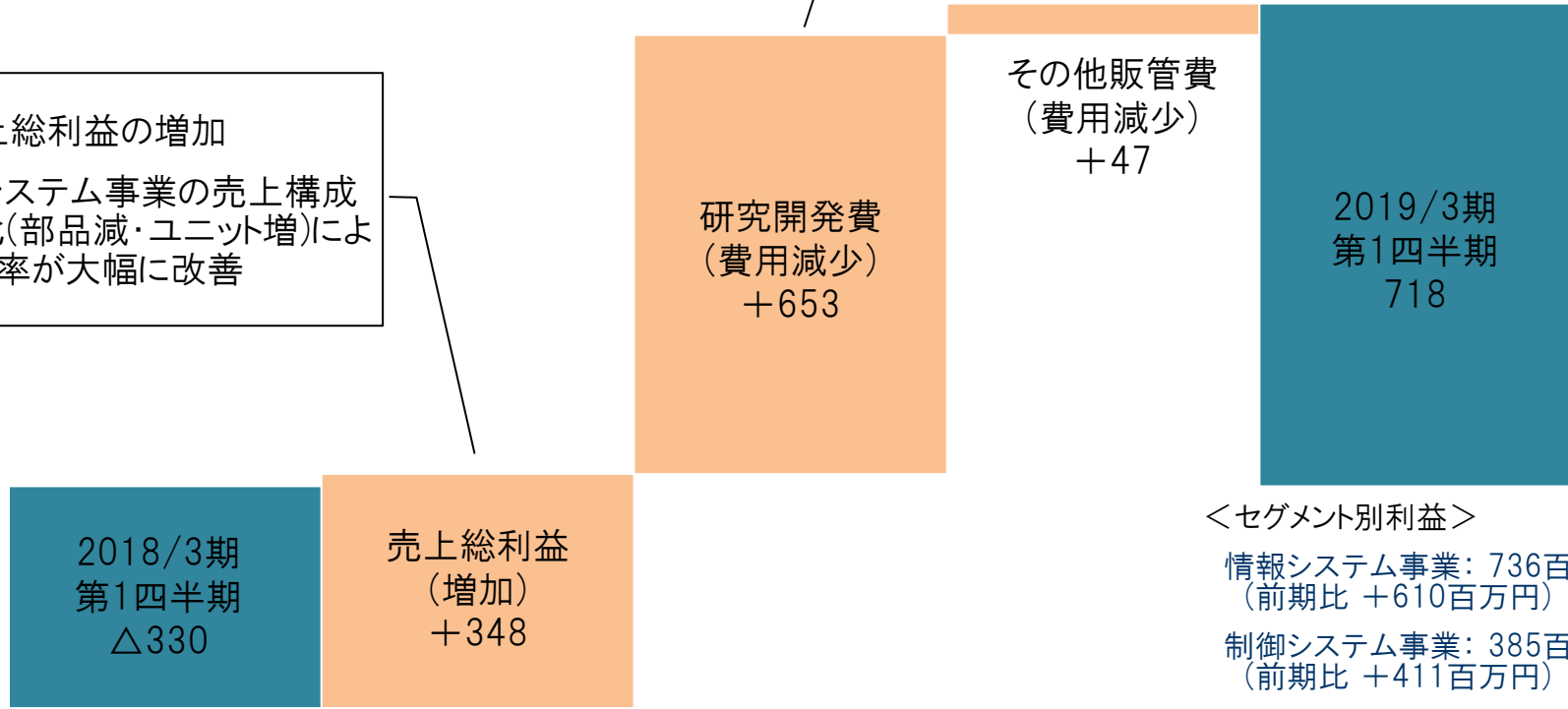
※ セグメント業績の売上高にはセグメント間取引が含まれております。

# 営業利益増減要因

前期比 +1,049百万円

■ 売上総利益の増加  
 制御システム事業の売上構成の変化(部品減・ユニット増)により利益率が大幅に改善

■ 研究開発費の減少  
 主に情報システム事業において、研究開発費が一時的に増加した前年同期に対し大幅に減少



＜セグメント別利益＞  
 情報システム事業：736百万円 (前期比 +610百万円)  
 制御システム事業：385百万円 (前期比 +411百万円)  
 全社費用：△403百万円 (前期比 △28百万円)

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)	2018年3月期	2019年3月期 第1四半期	前期比
流動資産	26,556	25,631	△925
固定資産	17,007	16,615	△391
資産合計	43,564	42,247	△1,316
流動負債	13,196	11,483	△1,713
固定負債	1,115	1,423	+307
負債合計	14,312	12,906	△1,405
純資産合計	29,251	29,340	+88
負債純資産合計	43,564	42,247	△1,316
有利子負債	3,300	3,300	±0
自己資本比率	67.1%	69.4%	+2.3%

### ■資産

当第2四半期以降に販売予定している「たな卸資産」の増加がありましたが、「現金及び預金」や「売上債権」が減少したことにより、資産合計は前連結会計年度末に比べ13億16百万円減少の422億47百万円となりました。

### ■負債

「研究開発費」及びソフトウェアに関する「未払金」や「支払手形及び買掛金」が減少したことにより、負債合計は前連結会計年度末に比べ14億5百万円減少の129億6百万円となりました。

### ■純資産

6月に支払った配当金の額より四半期純利益の計上が上回ったことで「利益剰余金」が増加し、純資産合計は前連結会計年度末に比べ88百万円増加の293億40百万円となりました。

### ■自己資本比率

自己資本比率は前連結会計年度末比2.3ポイント上昇の69.4%となりました。

# 2019年3月期 業績見通し

※2018年5月14日公表の業績見込から変更はありません

## ○ 最近の業界動向

弊社グループが携わるパチンコ業界におきましては、平成30年2月1日にパチンコ店における依存(のめり込み)問題への対応の一環として施行された「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」(「新規則」)による、パチンコホールの業績への影響の不透明感から、設備投資に対して慎重な姿勢が継続する厳しい事業環境となりました。

## ○ 当面の業界動向

パチンコ業界におきましては、パチンコホールでの稼働の微減傾向が継続するなか、規則改正の影響など厳しい市場環境が予想されますが、新規則の遊技機が市場投入されるにつれ、集客を目的とした、周辺設備の入替需要が活発化することが期待されます。



## ○ 売上高 (350億円) 前期比9億7百万円増加

### ■ 情報システム事業 (260億円) 前期比11億73百万円増加

「BIGMO PREMIUM II」、「REVOLA」、「IL-X3」などの情報公開端末での「わかり易さ、見やすさ」にこだわった機能強化に取り組めます。

ファン動向データ公開サービス「Fan-SIS」の提案と当サービスの導入に必要なCRユニット「VEGASIA III」の販売を強化します。

### ■ 制御システム事業 (90億円) 前期比3億23百万円減少

開発工程の効率化に努めます。

新規時代に対応した新たな遊技性を創出し、新技術を取り入れた企画及びユニット提案を加速させ、付加価値の高いハードウェアの獲得に注力します。

## ○ 販売管理費 (111億円) 前期比4億56百万円増加

広告宣伝費、業務委託費等の増加によるもの

(注)事業の種類別セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

# 2019年3月期決算見込(連結)

単位:百万円	2018年3月期 実績			2019年3月期 予想			前期比
	上期	下期	通期	上期見込	下期見込	通期見込	
売上高	17,996	16,097	34,093	15,000	20,000	35,000	+907
売上総利益	6,097	5,740	11,837	5,900	6,500	12,400	+563
販売管理費	5,722	4,922	10,644	5,450	5,650	11,100	+456
営業利益	375	817	1,192	450	850	1,300	+108
経常利益	493	897	1,390	500	900	1,400	+10
親会社株主に帰属する 当期純利益	296	489	785	300	500	800	+15
研究開発費	1,240	338	1,578	740	860	1,600	+22
減価償却費	1,004	1,081	2,085	840	1,030	1,870	△ 215
設備投資	394	308	702	330	500	830	+128
ソフトウェア	440	808	1,248	800	1,550	2,350	+1,102

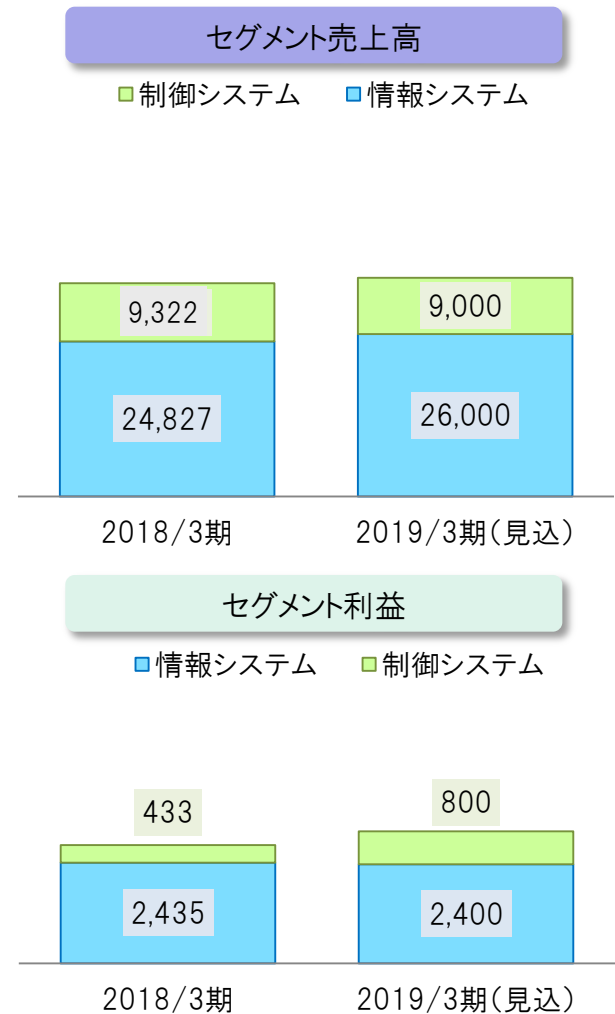
# 2019年3月期 セグメント別業績見込

**前期比** セグメント売上高+850百万円、セグメント利益+332百万円

単位:百万円

	2018年3月期	2019年3月期 見込	前期比
情報システム	24,827	26,000	+1,173
機器販売	14,413	15,200	+787
サービス売上	10,414	10,800	+386
小計	24,827	26,000	+1,173
制御システム	9,322	9,000	△ 322
ユニット・部品販売	6,261	7,500	+1,239
パチスロ販売/コンシューマゲーム	3,062	1,500	△ 1,562
小計	9,322	9,000	△ 322
<b>セグメント売上高</b>	<b>34,150</b>	<b>35,000</b>	<b>+850</b>
情報システム	2,435	2,400	△ 35
制御システム	433	800	+367
<b>セグメント利益</b>	<b>2,868</b>	<b>3,200</b>	<b>+332</b>
全社経費	1,676	1,900	+224
連結売上高	34,093	35,000	+907
連結営業利益	1,192	1,300	+108

(注)事業の種類別セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。



# 注 記

本資料に掲載されているダイコク電機の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から弊社の経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるよう、お願い申し上げます。

## ■お問合せ先

ダイコク電機株式会社 総務部 IR担当

TEL 052-581-7111

E-MAIL [xsomu@daikoku.co.jp](mailto:xsomu@daikoku.co.jp)